

令和5年度入学式式辞

花々が咲き誇り、春の香りが満ち溢れる今日のこの佳き日に、柄沢同窓会長様、鈴木PTA会長様、並びに新入生保護者の皆様の御臨席のもと、令和五年度榛名高等学校入学式を執り行うことができますことは、私共わたくしどものこの上ない喜びであります。

さて、本日校門をくぐった五十九名の新入生の皆さん、入学おめでとうございます。

皆さんは、入学選抜を経て選ばれた人たちです。第一希望でなかった人もいると思いますが、本校への入学を決断したのは自分です。

自分の決断に責任を持ち、改めて自分は「今日から榛名高校で勉強するんだ」という強い決意を持ってほしいと思います。

これまでの三年間は、新型コロナウイルス感染症への対応として、多くの規制や制限がありました。我慢の中学校三年間だったと思います。

しかし、コロナ禍だったからこそ学べたこともあったのではないのでしょうか。周囲を気遣い、思いやる気持ちや、できないと思っていたことでも工夫次第でやり遂げられた経験など、高校生活でもきっと役立つはずです。

これからの高校生活では、つらいことや苦しいこともあるかもしれません。そういうときには、今決意した自分の気持ちを思い返し、自分を励まし、困難を乗り越えてください。高校は義務教育ではありません。自ら鍛え、卒業まで頑張り通してください。そして、三年後には全員で卒業式を迎えましょう。

本校は昭和十五年、この地域が室田町むろだまちと呼ばれていた頃、女子に教育をとの地元の強い願いから、室田高等実践女学校としてその歩みを始めました。

その後、男女共学化と学制改革により室田高等学校を経て、昭和三十年に町村合併により榛名町が誕生すると、校名も榛名高等学校となりました。今年度で創立八十三年目となります。

「活気あふれる小さな学校 あつとほ一む榛高」を合い言葉に、新入生の皆さんが充実した高校生活を送ることができるよう、職員一同全力でサポートしていきます。そして、卒業後は地域を背負って立つ自立した大人へと成長してほしいと願っています。

そこで、本校でこれからの三年間を過ごす皆さんに、本校の教育目標を紹介します。

教育目標は「ぐんまチャレンジ・ハイスクールの実践を通して、生徒の生活力や人間力を育成する」です。

チャレンジ・ハイスクールは三つの柱があります。

一つが「基礎・基本学習」です。一年次の国語は四十分、数学・英語は三十分の通常より短時間の授業で、毎日授業があり、少人数指導で基礎・基本をしっかりと身につけます。

二つめの柱は「体験型自己開発学習」です。様々な体験的活動を通して、自己理解・他者理解を深め、進路意識の向上と勤労観・職業観を養います。

三つめの柱は「人間づくり学習」です。学校行事や学年行事だけでなく、生徒会活動や部活動に取り組んだり、地元地域の活動や行事に参加したりと、みなさんが活躍できる機会がたくさんあります。

ただおとなしく教室の席に座って、受け身で授業受けているだけでは教育目標にある生活力や人間力は育成できません。積極的に「いろいろなことにチャレンジする」という気持ちを持ってください。

チャレンジは時には失敗することもあります。そこから多くのことを学ぶことができます。だから本校では失敗しても大丈夫です。社会に出る前に、高校でしかできない失敗をしてください。もちろん成功もたくさんして、多くを学んでください。失敗を恐れず、高校三年間はチャレンジし続けてください。それがチャレンジ・ハイスクールです。

本校は、一人一人が自分の目標に向かってチャレンジし続けることで自信をつけ、全員が主役になれる、そんな学校です。

保護者の皆様にもお願いがあります。

一つは、お子様が「高校生として望ましい習慣」を身につけるよう、ご家庭でのご指導をお願いします。高校生は経験も判断力もまだまだ未熟です。また、高校生を取り巻く環境は、決して安心できるものではありません。そういう状況で良い習慣を身につけるためには、ご家庭でのご指導が是非とも必要です。

二つ目は、本校の教育方針を十分にご理解頂き、学校との連携をお願いしたいということです。ご家庭と学校が一体となって、お子様の成長を支援していきたいと考えております。何卒よろしくごお願い申し上げます。

結びに、本日入学した五十九名の新入生の皆さんの充実した高校生活と健やかな成長を祈念し、式辞といたします。

令和五年四月十日

群馬県立榛名高等学校
校長 天田 徹也